

平成30年度社会福祉法人橘風会事業報告

I. 総括

1. 平成30年度の収支は、全体で前年度対比102.5%、金額ベースで1,700万の増加となり、ねむの丘での収入増が法人全体の収入増に大きく寄与した結果となった。
ねむの丘では介護報酬のプラス改定や入院者の減少に伴い、前年度対比104%、金額ベースで1,600万と大幅な増収となった反面、入院者の減少により空床利用が減少したことにより、ショートステイでは前年度対比95.4%、金額ベースで390万の減収となった。
在宅部門においてはデイサービスで前年度対比99.2%、金額ベースで87万の減収となったが、介護報酬のマイナス改定や規模変更に伴う基本単価の大幅な減少により減収を予測していたが、9月にデイサービスを二つの事業所に分けた事により、第二デイサービスが通常規模の高単価に変更となった事で、減収幅の縮小につながる結果となった。ケアプランセンターで前年度対比104.6%増、ヘルパーステーションで102.7%増と昨年度の大幅な増収の反動もなく、更に増収を確保出来た。
2. 地域包括支援センターの本格運営並びに第二デイサービスの開所に伴い、経年劣化による故障により使用できなくなっていた空調設備を更新するとともに、防犯の強化対策として門扉及びフェンスの設置を行い、部外者の不法侵入防止策を講じた。
3. 故障頻度が高い車両を優先に入れ替えを実施。燃料コストの減少や故障リスクの低減につながるるとともに、ドライブレコーダーやセーフティシステム等を導入した事により、安心・安全な運転意識を高めることが出来た。

II. 改正事項

1. 定款・規約・規程等の整備
 - 1) 定款
 - ① 変更点なし
 - 2) 規約
 - ① 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正
 - 3) 規程
 - ① 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正
 - ② 社会福祉法人橘風会 経理規程の一部改正
 - ③ 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正
 - ④ 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正
 - ⑤ 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の制定について
 - ⑥ 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の制定について
 - ⑦ 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正

- ⑧ 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正
- ⑨ 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正
- ⑩ 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正

Ⅲ. 組 織

1. 役 員（平成31年 3月末日現在）

理事長	内田 章 義				
理 事	都丸 政 行	鈴木 基 晴（施設長）	狩野 義 雄		
	都丸 宣 彦	丸 橋 正 幸	（就任順）		
監 事	今井 兼 則	都丸 正 隆	（就任順）		
評議員	小林 百合子	萩原 吉 行	狩野 俊 美	高橋 睦 男	
	田村 なつ江	諸 田 正 子	小川 志 道	（就任順）	

2. 職 員

(1) 橘風会 総数	142名	常 勤	76名（男34名、女42名）
		非常勤	66名（男10名、女56名）
(2) 施設長	1名	常 勤	1名（男 1名）
(3) 総務課	12名	常 勤	3名（男 2名、女 1名）
		非常勤	9名（男 7名、女 2名）
課長	1名	常 勤	1名（男 1名）
総務係	2名	常 勤	2名（男 1名、女 1名）
用務	2名	非常勤	2名（男 2名）
管理当直	3名	非常勤	3名（男 3名）
洗濯・清掃	4名	非常勤	4名（男 2名、女 2名）
(4) 施設介護課	72名	常 勤	48名（男22名、女26名）
		非常勤	24名（男 0名、女24名）
部長	1名	常 勤	1名（男 1名）
課長	1名	常 勤	1名（男 1名）
生活支援係	2名	常 勤	1名（管理栄養士1名）
		非常勤	1名（栄養士1名）
介護支援専門員	1名	常 勤	1名（男 1名）
第一介護係	31名	常 勤	19名（男 8名、女11名）
		非常勤	12名（男 0名、女12名）
第二介護係	36名	常 勤	25名（男11名、女14名）
		非常勤	11名（男0名、女11名）
(5) 医務課	10名	常 勤	6名（看護師4名、准看護師2名）

非常勤 4名（看護師0名、准看護師4名）

課長 1名 常勤 1名（看護師1名）
 医務係 8名 常勤 3名（看護師1名、准看護師2名）
 非常勤 5名（看護師1名、准看護師4名）
 機能訓練指導員 1名 常勤 1名（看護師1名）

(6) 在宅介護課 47名 常勤18名（男9名、女9名）
 非常勤29名（男3名、女26名）

課長 1名 常勤 1名（男1名）
 通所介護事業所 27名 常勤 5名（男3名、女2名）
 非常勤22名（男2名、女20名）
 運転手 2名 非常勤 2名（男2名）
 居宅介護支援事業所 5名 常勤 4名（男2名、女2名）
 非常勤 1名（男0名、女1名）
 訪問介護事業所 9名 常勤 2名（サービス提供責任者）
 非常勤 7名（登録ヘルパー）
 地域包括支援センター 3名 常勤 3名（男1名、女2名）

IV. 会 議 1. 理 事 会

開催年月日	開催名	議 題 内 容
平成30年 5月26日	第1回理事会	議案第 1号 平成29年度社会福祉法人橘風会事業報告並びに資金収支決算（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録）の認定について [監査報告]
		議案第 2号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について
		議案第 3号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の制定について
		議案第 4号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について
		議案第 5号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の制定について
		議案第 6号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について
平成30年 8月25日	第2回理事会	議案第 7号 平成30年度社会福祉法人橘風会第一次資金収支補正予算について
		議案第 8号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について
		議案第 9号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター）の一部改正について
		議案第10号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について
		議案第11号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合

		<p>事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について</p> <p>議案第12号 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について</p> <p>議案第13号 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について</p> <p>議案第14号 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正について</p> <p>議案第15号 社会福祉法人橘風会 経理規程の一部改正について</p>
平成31年 3月 9日	第3回理事会	<p>議案第16号 平成30年度社会福祉法人橘風会第二次資金収支補正予算について</p> <p>議案第17号 平成31年度社会福祉法人橘風会事業計画並びに資金収支予算について</p> <p>議案第18号 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正について</p> <p>議案第19号 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について</p> <p>議案第20号 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について</p> <p>議案第21号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第22号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について</p> <p>議案第23号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について</p> <p>議案第24号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について</p> <p>議案第25号 社会福祉法人橘風会 評議員選任・解任委員の選任について</p> <p>議案第26号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について</p>

2. 監査会

開催年月日	事業内容
平成30年 5月10日	平成30年度 監査会（平成29年度決算監事監査）
平成30年11月27日	平成30年度 上半期会計監査会

3. 評議員会

開催年月日	開催名	議題内容
平成30年 6月16日	第1回 評議員会	<p>議案第1号 平成29年度社会福祉法人橘風会事業報告並びに資金収支決算（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録）の認定について [監査報告]</p> <p>議案第2号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の制</p>

		<p>定について</p> <p>議案第 4 号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第 1 号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 5 号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第 1 号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の制定について</p>
平成 30 年 8 月 25 日	第 2 回 評議員会	<p>議案第 6 号 平成 30 年度社会福祉法人橘風会第一次資金収支補正予算について</p> <p>議案第 7 号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について</p> <p>議案第 8 号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第 1 号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター）の一部改正について</p> <p>議案第 9 号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 10 号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第 1 号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 11 号 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 12 号 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 13 号 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正について</p> <p>議案第 14 号 社会福祉法人橘風会 経理規程の一部改正について</p>
平成 31 年 3 月 23 日	第 3 回 評議員会	<p>議案第 15 号 平成 30 年度社会福祉法人橘風会第二次資金収支補正予算について</p> <p>議案第 16 号 平成 31 年度社会福祉法人橘風会事業計画並びに資金収支予算について</p> <p>議案第 17 号 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正について</p> <p>議案第 18 号 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 19 号 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 20 号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 21 号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第 1 号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 22 号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について</p> <p>議案第 23 号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第 1 号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について</p>

4. その他

開催年月日	事業内容
平成30年 5月 6日	第1回家族会総会 苗の植え付け、掃除等
平成30年 5月10日	苦情解決報告会
平成30年 7月 9日	入所判定委員会の開催
平成30年 8月25日	第23回ねむの丘祭り
平成30年 9月17日	第2回家族会 「認知症の基礎知識」について勉強会
平成30年10月29日	入所判定委員会の開催
平成30年11月14日	入所判定委員会の開催
平成30年12月 9日	第3回家族会 餅つき、大掃除等

V. 事業（目標）結果

1. 総務課

<目標>

- OJT・OFF-JTの双方のメリットを活かす人材育成を実施し、新たな知識やスキルの取得を促します。
- 次世代育成支援対策推進法に基づき策定した、一般事業主行動計画の計画最終年度であり、職業生活との両立を支援するための雇用環境の整備を行います。
- 法人所有車の定期的な入替えを行い、管理コスト及び燃料費の削減を図るとともに、環境負荷の低減に取り組みます。
- 個人情報紛失、漏洩、改ざん及び不正アクセス等のリスクに対して、安全対策及び予防措置を講じます。

<結果>

- OJT・OFF-JT研修への参加を促し、能力向上につなげる取り組みを行った。
- 認証切れとなる一般事業主行動計画を新たに策定するとともに、子育てサポート企業の認証であります「くるみん」の取得に向けた取り組みを行った。
- 経年劣化により故障が増えた車両の入れ替えを実施。ねむの丘で1台・第一デイサービスセンター虹の家で2台・ケアプランセンターねむの丘で1台・ヘルパーステーションねむの丘で1台、計5台の車両の入れ替えを実施し、メンテナンス費用の削減及び環境負荷の低減に努めた。
- セキュリティ強化の為、サーバーの更新や介護ソフトの更新を実施し、システムを最新設備にすることで外部からの不正アクセスや個人情報漏洩を防ぐことが出来た。

法人共通研修

平成30年4月4日	諸規程・社会人としてのマナーについて
平成30年5月16日	排泄マネジメントケアの基礎を学ぶ
平成30年7月18日	食中毒とその予防
平成30年8月15日	身体拘束をしないケア
平成30年9月12日	認知症の理解と対応について
平成30年10月17日	感染症について

2. 施設介護課

施設介護課基本方針

- 親孝行の視点でご利用者の心によりそうケアを提供する。
- 『ねむの丘ケア方針』に基づいた愛情あるケアを提供する。

各部署の目標

① 生活相談員

<目標>

ご利用者が笑顔になれる関わりを常に想像し意識的に関わることで自己肯定感を感じられる支援を提供します。

- 個々のご利用者が笑顔になれる事柄を活用して関わるができる。
- 生活史をふまえたコミュニケーションが図れる。

<結果>

- 入所時にもれなくフェイスシートを作成し、信頼関係を築く関りを意識しコミュニケーションを図ることで笑顔を引き出す関わりをもつことができた。
- 施設内研修で個別のコミュニケーションシートの活用を促すことで、ご利用者の笑顔につなげる関わりを実践できるスタッフもでてきた。

② 介護支援専門員

<目標>

本人の生活上の願いを抽出し、自己実現を支えられるようなケアプランを作成します。

- ケアプラン関係様式を職員に周知し活用レベルまで持つていく。
- 日常ケアで気づきの視点を持ってケアプランを意識してケアすることができる。
- ターミナルケアプランの様式を理解して、ケアプランに沿ったケアが提供できるようにする。

<結果>

- 新人職員を中心にケアプラン関係様式を周知し概ね活用することができた。
- 日常ケアで気づきの視点を持つことができ、ケアプランを意識することができた。
- ターミナルプランを理解しケアプランに沿ったケアを展開することができた。

③ 管理栄養士

<目標>

日々の摂食状況を把握し、安全に美味しく食事ができることで栄養状態の維持向上を図り、意欲的な生活が送れるよう支援します。

- 栄養状態や咀嚼嚥下機能の変化に気付き、予防や改善ができる。
- 生活の楽しみの一つとなるような食事の提供ができる。
- 食事について、改善に向けた課題が共有できる。

<結果>

- 多職種連携し、嚥下機能や栄養状態に合わせて食事の形態・内容を検討することができた。
- 年中行事や季節を感じられるようなメニューを献立に取り入れることができた。
- 日々の食事をより良いものにするために、給食業者と連携を図り、課題を共有できた。

④ 介護係

第一係橘組

<目標>

ご利用者が笑顔で過ごして頂けるように笑顔になれる情報を収集し心のこもったコミュニケーションを提供します。

- ご利用者の想いに寄り添い、「願い」「希望」をキャッチすることができる。
- ご家族にタイムリーな情報を伝える仕組みを作る。行事にも参加してもらい信頼関係を築いていく。

<結果>

- 生活歴を活用したコミュニケーションから本人の想いを収集することで、ご利用者の願いを導き出すことができ、願いを実現することで、笑顔や次の願いを導き出すことができた。
- 家族との情報共有シートは作成することはできたが、活用には至らなかった。食事会等の行事に、ご家族に協力いただき信頼関係を深めることができた。

第一係風組

<目標>

安全をもとに、ご利用者の自己選択・自己決定を尊重することで、尊厳を保持しながら自立支援に繋がります。

- ご利用者の意向を尊重するために、自己選択・自己決定の機会を多く持ち、その人らしい張りのある生活が送れるよう支援することができる。
- ご家族との絆が深まる生活が送れるよう支援することができる。
- ご利用者一人ひとりの尊厳が保持できるよう、常に高い倫理観を持ち、ご利用者の人権やプライバシーを遵守することができる。

<結果>

- 日常生活の中で利用者の選択・決定の意思を確認することで、張りのある生活を送っていただくことができた。
- ご利用者の希望を基に自宅への外出を実施し家族の絆を深めることができた。季節行事に関してもご家族に協力頂き、楽しい時間を共有することができた。
- 人権やプライバシーに対する勉強を行い、適正な声掛けや援助方法を統一する取り組みができた。

第二係花組

<目標>

一人ひとりを深く知り、知り得た情報を共有することで望む生活を実現できるよう支援します。

- 24時間シートからアセスメント表を更新することで、ご利用者のニーズを深く知ることができる。
- 情報を基に生活リズムの見直し、自己肯定感を感じられる余暇活動が実施できる。

<結果>

- 24時間シートを毎月更新し、ご家族にも話を伺いながら情報を集めることで、ご利用者のニーズを知ることができた。
- 知りえた情報を基に、本人が望む余暇活動を実施することで、笑顔につなげることができた。

第二係月組

<目標>

一人ひとりの希望や想いを情報シートにまとめ活用することで自己肯定感を感じられる支援を提供します。

- 笑顔になる情報シートを活用し、ご利用者及びご家族から情報を得ることで、本人のニーズを深く知ることができる。
- 笑顔になる情報シートを活用することで、本人が楽しめる余暇活動が実施できる。

<結果>

情報シートを活用し、ご利用者及びご家族、キーパーソン以外の家族からも積極的に情報収集を行うことで笑顔につながる情報を収集することができた。

- 知り得た情報を基に個々の笑顔になる余暇活動や行事を企画し実施することができた。ご家族にも食事作りに協力して頂き、楽しみや笑顔に繋げることができた。

第二係宙組

<目標>

日々の関わりの中で喜びや楽しみを感じて頂ける事柄を職員間で共有し、毎日を笑顔で過ごせるよう個別に支援します。

- 生活歴の見直し共有・活用を行い、日々の関わりの中で笑顔になった事柄や興味を持たれた話題などを記録に残し職員間で共有し実行して行く。
- 何気ない会話の中でもご利用者の想いや願いを汲み取り、喜びや楽しみを感じて頂けるようなケアを実践して行く。

<結果>

- 生活歴を基にした関わりを含め、新しい発見を行いながらご利用者の笑顔に繋がる関わりが実践できていた。個々のご利用者の支援内容を職員が考え実践することで、利用者・職員双方が毎日を笑顔で過ごすことができた。
- ご利用者の願いや想いを継続的に実現する事はなかなか難しかったが、ケアの検討などはタイムリーに行うことで、ご利用者の生活の質を向上することができた。

第二係星組

<目標>

ご利用者が日々楽しく過ごして頂くために、ご本人のことをより深く知ったうえで願いや希望に沿った支援を提供します。

- ご利用者の願いや希望を知る為にコミュニケーション情報シートを見直し活用していく。
- 星組だよりを通して日頃のご利用者の様子やイベントなどの様子を掲示していく。
- 面会を増やせるように、ご家族を交えたイベントを行っていく。

<結果>

- ご利用者をより深く知る為に、生活歴からコミュニケーション情報シートの更新を行うことができたが、願いや希望を導き出すには至らなかった。
- 星組だよりを毎月作成、掲示し日頃のご利用者の様子やイベントの様子をご家族に知ってもらうことができた。
- 外出行事にはご家族にも協力してもらいご利用者と一緒に楽しめる時間を双方に提供することができた。

第二係楓組

<目標>

個々のご利用者の事を深く知り関わることで生活の中で喜び・希望・楽しみを感じながら笑顔で生活できるよう支援します。

- 個々のご利用者の喜び・希望・楽しみを感じながら笑顔で過ごせるように、ご利用者のことを深く知るための情報シートを作成し活用できる。
- 作成した情報シートを更新し毎月の組会議の議題に上げて、個々のご利用者の喜び・希望・楽しみについて話し合った内容を活用したコミュニケーションを図る。

<結果>

- ご利用者の「喜び・希望・楽しみ」についての情報シートを作成することができた。
- ご利用者の「喜び・希望・楽しみ」についての情報シートを作成しまとめ一覧化し更新することはできたが、毎月の組会議で議題に上げて話し合うところは課題が残った。

第二係桜組

<目標>

笑顔で過ごして頂くために、ご利用者が喜びを感じられる情報を収集し心のこもった個別ケアを提供します。

- 日常生活が笑顔になるように、生活歴から情報収集し、ご利用者が喜んでもらえるコミュニケーションを図れる。
- ご利用者が行きたい所や叶えたい事を、本人及びご家族に確認しご家族と共に実現していく。

<結果>

- ご利用者の生活歴から得た情報を活用し笑顔になる話題をまとめ、日々のコミュニケーションの材料として関わることで、笑顔を増やすことができた。
- ご利用者が笑顔になる話題を活用して関わることで信頼関係が築け、ご利用者自ら「こんなことをしたい」と要望が聞かれるようになったが、実現には至らなかった。

⑤ 短期入所生活介護

<目標>

適切な認知症ケアを提供するために、サービス計画書を活用し統一したケアを実践することでご利用者が在宅生活を継続できるよう支援します。

- ご利用者に積極的に寄り添い傾聴し、真心と笑顔で接し心が和むケアを提供する。
- ご利用者が楽しめるような余暇活動を実施することで日常生活動作や生活の質の向上を目指していく。
- ご利用者の趣味や生き甲斐等を把握して楽しみのある時間をご利用者と共に過ごす。

<結果>

- 入退所時に積極的に寄り添い傾聴することができた。
- 組会議の中で余暇活動を計画し実施することができた。
- 短期入所計画書を活用し生きがいや楽しみのある時間を作ることができた。

⑥ 各委員会

リスクマネジメント委員会

<目標>

リスクマネジメント力の向上にむけた取り組みを浸透させることで、気づきの啓発に繋げ、事故を未然に回避し、ご利用者の安心、安全な生活を提供します。

- KYT(危険予知訓練)の実施により、気づきの感性を高め、ご利用者に起こり得るリスクを回避することができる。
- ヒヤリハット報告書(出来事報告書)を活用し、今後起こり得るリスクや事故を未然に防ぐことができる。
- 要因分析ツール SHEL モデルを活用することで、多角的な要因を分析し予防策を構築、実践することで、ケアの質の向上を図り事故を未然に回避することができる。

<結果>

- KYT 動画を活用する事で、個々の職員の気づきの感性を高めることができた。
- ヒヤリハット報告書(出来事報告書)の段階から、対応策を思考することで大きな事故を未然に防ぐことができた。
- SHEL モデルを活用し多角的に分析する事で、再発予防策を実践することで下半期は事故の件数を減らすことができた。

食事改善・食中毒委員会

<目標>

多職種連携により、ミールラウンドの方法や必要性を理解し実践することで、口から食べる楽しみを支援します。

- 多職種連携により、いつまでも口から食べられるよう支援できる。
- 食中毒と予防について知識を深める。

<結果>

- ミールラウンドを通して、安全に食事を楽しむために、多職種で検討することができた。歯科衛生士と連携し、口腔ケアの重要性や方法を理解することで適切な口腔ケアへとつなげることができた。
- 法人共通研修にて、食中毒と予防について知識を深めることができた。

資質向上委員会

<目標>

理念及び基本方針を常に思考し、ご利用者の想いに寄り添う事で質の高いサービスを提供します。

- 職員一人ひとりが基本方針を理解してご利用者をかけがえのない存在として親孝行の視点で援助を思考し実施する。
- ケア方針研修を通して知識・技術の共有ができる。

<結果>

- 各組で基本方針に基づいた目標を定め、進捗状況を確認しあうことで、良い刺激となり相乗効果が得られた。年度末には「事例発表会」で各組の取り組みをまとめ発表した。そのことで年間の活動を振り返ることができ次年度へとつながった。
- テーマ別にねらいを定め研修を毎月実施したことで、研修の内容を意識させることでケアの向上につなげた。研修内容を全体で共有するために、各組で復命研修を行い職員の意識が高まった。

排泄委員会

<目標>

個々のご利用者の状態に応じ、多職種が連携し排泄ケアを提供します。

- その人らしい排泄をサポートすることができる。
- 適切な排泄物品を選び、排泄トラブルの軽減に努める。

<結果>

- 排泄支援計画書を作成することで、職員が自立支援の必要性を認識することができたが、実施には課題が残った。
- 排せつ物品を表にまとめることで、その方に合った適切な排せつ物品を使用することができた。

感染対策委員会

<目標>

清潔な環境を整えてノロウイルス・インフルエンザ等の発生及び蔓延を防ぐケアを提供します。

- 平常時から清潔な環境を整えることができる。
- ノロウイルス初期対応が誰もがができる。
- 歯科医師、歯科衛生士と連携し、口腔衛生に関する指導内容を実施することで適切な口腔ケアが提供できる。

<結果>

- 清掃チェック表を作成し、パソコン、電話、手摺等手が触れる箇所を毎日清掃することができた。感染につながる箇所を各組で検討し追加することで平常時の清潔な環境を整えることができた。ご利用者でインフルエンザ感染者が1名でたが、感染拡大にはなかった。
- 嘔吐時に誰もが適切な初期対応がとれるように、秋に全職員が嘔吐時の対応演習を行うことで、手技を周知することができた。
- 歯科医師から口腔衛生に関する指導を毎月受け、各組で指導内容を実践することで適切な口腔ケアへとつなげることができた。

身体拘束委員会

<目標>

尊厳が傷つけられる行為を認識したうえで、対策を講じ尊厳が尊重されるケアを提供します。

- 尊厳ある生活を提供するために虐待の種類や弊害を理解できる。
- 身体拘束指針を作成し活用できる。
- 職員が日々の業務の中で虐待に繋がる要因がないかを確認し対策を講じる。

<結果>

- 研修を通して虐待による様々な弊害について学び、尊厳が保たれた生活を提供するためには信頼関係が大切であることを伝えた。
- 身体拘束に関する指針を作成することはできたが、十分に周知することには課題が残った。
- 日常のケアでイラっとする場面がないか全職員に確認し、各組で業務や対応方法を検討した。研修ではストレスを感じるケア場面の対処法等を共有し虐待予防に努めた。

褥瘡委員会

<目標>

リスクアセスメントを実施し多職種と連携し発生を予防するケアを提供します。

- 褥瘡対策に関するケア計画書に基づき適切なケアができる。
- 個々に合った適切な物品を使用することができる。

<結果>

- 上半期で褥瘡ケア計画書の書式を作成し、下半期で各組の委員が中心となり書式の記載方法を周知することができた。
- 各組で計画書を基に、リスクのある利用者に対して褥瘡予防物品を準備し活用することで予防することができた。

広報委員会

<目標>

法人利用者はもとより、福祉関係者及び学生等に対しても法人を知って頂けるよう広く広報活動を行います。

- 施設便り年4回発行する。
- 求人情報・ボランティア募集情報など活用できるようにする。

<結果>

- 施設の様子を外部の方も感じて頂けるよう、イベントを中心としたブログの更新を行い、学生や求職者からも楽しい雰囲気伝わってくるとの声をいただく機会が増えた。

3. 医務課

<目標>

利用者が痛みなく安楽な生活が送れるように健康管理に努めます。

- 褥瘡を悪化させない（出来た褥創は早期に治す）。
- 利用者がねむの丘で安楽な生活が送れる。

<結果>

- 大きな褥瘡の発生はなかった。入院中に発生した褥瘡に対しては話し合い適したエアマットを導入し個々の治療を行う事で早期に治癒につながっていた。研修は行えなかったが、看護会議で新たな被覆材の導入を提案するなど、個々の知識を共有する事ができた。
- 褥瘡委員会と協働で褥瘡管理計画を実施・アセスメント・評価につなげることができた。
- 利用者の健康状態については日頃から家族には「受診時」「ケース会議時」「面会時」などに伝え記録に残し介護との共有に繋げている。医療情報の共有についても「入院中の様子」は1週間に1度病院からの情報を記録に残し介護との共有を図った。また、入院時と状態の変化が予測される利用者は相談員に報告し、退院前に他職種で退院後の生活を見据えた話し合いを早期に行った。
- 「看取り支援」については早期から多職種協働で話し合いが持てる様に配慮した。今後とも医療的な根拠に基づいた看取り支援を実践する必要があると思う。

○ 入退所状況

【従来型】

	1日現在 在所者数	退所者数	退所理由	新規入所者数	新規 平均介護度	新規平均年齢	備考
4月	39人	2人	長期入院×2人	3人	介護 3.6	86.3歳	在宅×2人 老健×1人
5月	40人						
6月	40人						
7月	40人						
8月	40人						
9月	40人						
10月	40人	1人	死亡(看取り)				
11月	39人	2人	死亡(看取り)×1 長期入院×1	1人	介護 4	88歳	在宅
12月	38人			2人	介護 3.5	86歳	在宅×2人
1月	40人	1人	死亡(看取り)				
2月	39人			1人	介護 4	95歳	老健
3月	40人						
合計		6人	<u>死亡3人(看取り3人)</u> 長期入院×3人	7人	介護 3.7	87.7歳	在宅×5人 老健×2人

※退所者平成27年11名(看取り0名)平成28年7名(看取り5名)平成29年9名(看取り5名)

要介護3	男	3人	3人	3人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	62人	13%
	女	3人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	2人	3人	3人		
要介護4	男	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	4人	5人	5人	205人	43%
	女	13人	12人	12人	12人	12人	10人	11人	11人	13人	14人	13人	13人		
要介護5	男	5人	5人	5人	6人	6人	6人	6人	6人	6人	6人	6人	6人	196人	41%
	女	10人	11人	11人	11人	11人	11人	11人	12人	10人	9人	10人	10人		
合計		40人	40人	40人	40人	40人	38人	39人	40人	40人	38人	40人	40人	475人	
平均介護度		4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	

※平均介護度：平成28年度介護4、平成29年度介護4.2。

【ユニット】

要介護度	性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
要介護1	男													1人	0%
	女	1人													
要介護2	男													15人	2%
	女		1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	2人	2人	2人		
要介護3	男	2人	2人	2人	2人	3人	4人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	143人	20%
	女	8人	8人	8人	8人	9人	9人	9人	9人	10人	11人	11人	10人		
要介護4	男	4人	3人	3人	3人	2人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	302人	42%
	女	22人	22人	24人	23人	22人	23人	23人	23人	21人	21人	21人	21人		
要介護5	男	6人	6人	6人	5人	5人	4人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	257人	36%
	女	17人	17人	17人	17人	18人	18人	18人	17人	17人	17人	15人	19人		
合計		60人	59人	61人	59人	60人	62人	60人	59人	59人	60人	58人	61人	718人	
平均介護度		4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4	4	4.1	4.1	

※平均介護度：平成28年度介護4、平成29年度介護4。

○ 入院者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	一日平均
既存	113日	67日	33日	34日	56日	90日	57日	84日	81日	107日	38日	51日	811日	2.2人
ユニット	78日	71日	69日	127日	123日	90日	73日	86日	82日	54日	81日	64日	998日	2.7人
合計	191日	138日	102日	161日	179日	180日	130日	170日	163日	161日	119日	115日	1809日	5.0人
一日平均	6.4人	4.5人	3.4人	5.2人	5.8人	6.0人	4.2人	5.7人	5.3人	5.2人	4.3人	3.7人	入院率 既存：5.5% ユニット：4.5%	

※施設での医療行為の拡充及び看取りが増加したことにより、平成29年度平均一日平均入院者6.7人から5人と大幅に減少した。

○ 稼働状況(ショートを含めた稼働率)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
既存	92.8%	95.5%	92.9%	92.8%	95.5%	92.6%	98.4%	94.6%	93.1%	92.2%	98.5%	96.8%	94.7%
ユニット	96.1%	96.8%	97.0%	94.9%	97.3%	96.0%	96.7%	96.9%	96.9%	98.2%	96.4%	98.2%	96.8%
合計	94.5%	96.2%	95.0%	93.9%	96.5%	94.3%	97.6%	95.8%	95.0%	95.2%	97.5%	97.5%	95.7%

※入院者の減少及び入退所が少なかったことにより平成29年稼働率95%から95.7%と増加した。

○ ショート利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	49人	49人	50人	53人	55人	51人	52人	54人	54人	55人	52人	55人	629人
延べ日数	591日	616日	534日	554日	668日	574日	643日	617日	591日	621日	578日	641日	7228日
一日平均	19.7人	19.9人	17.8人	17.9人	21.5人	19.1人	20.7人	20.6人	19.1人	20.0人	20.6人	20.7人	19.8人

※入院者の減少に伴い、空床利用が減少したことにより平成29年度一日平均20.6人から19.8人と減少した。

4. 在宅介護課

(1) デイサービスセンター虹の家

<目標>

多くの高齢者やご家族、地域の皆様に、虹の家が楽しく元気になれる場所だと認識してもらい、親孝行の精神で心のこもったサービスを提供します。

第一デイにおいては、機能訓練やレクリエーションの充実、第二デイにおいては介護予防、認知症予防を充実させ、様々なニーズに応じていきます。

<結果>

9月1日より定員50名(サテライト18名を含む)から第一デイの定員を30名、第二デイを20名に変更した。今年度は29年度に引き続き利用者の来所時及び施設内・送迎車両の感染予防対策の強化を図り、感染症の蔓延を防ぐことができた。また、当法人を含めた在宅介護支援事業所との連絡を密にし、新規利用者の獲得に努めた。

デイサービスセンター虹の家 利用状況報告（30年度）

平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	25	27	26	26	27	26	157	26	26	26	24	24	27	153	310	26
要支援1	43	41	30	29	23	21	187	25	26	16	14	10	13	104	291	24
要支援2	96	106	105	105	94	98	604	111	145	137	127	129	188	837	1441	120
要支援延利用人員	139	147	135	134	117	119	791	136	171	153	141	139	201	941	1732	144
要支援一日平均	5.6	5.4	5.2	5.2	4.3	4.6	5.0	5.2	6.6	5.9	5.9	5.8	7.4	6.2	5.6	5.6
介護度1	356	400	375	415	415	358	2319	351	344	358	330	336	389	2108	4427	369
介護度2	155	178	201	214	201	229	1178	267	240	239	230	207	236	1419	2597	216
介護度3	202	192	198	206	221	236	1255	191	205	219	176	156	203	1150	2405	200
介護度4	45	85	82	85	84	75	456	57	42	54	59	50	66	328	784	65
介護度5	12	7	5	4	6	4	38	11	5	6	8	5	4	39	77	6
要介護延利用人員	770	862	861	924	927	902	5246	877	836	876	803	754	898	5044	10290	857.5
要介護一日平均	30.8	31.9	33.1	35.5	34.3	34.7	33.4	33.7	32.2	33.7	33.5	31.4	33.3	33.0		33.19
延利用人員数	909	1009	996	1058	1044	1021	6037	1013	1007	1029	944	893	1099	5985	10337	861
一日平均	36.4	37.4	38.3	40.7	38.7	39.3	38.5	39.0	38.7	39.6	39.3	37.2	40.7	39.1		33.3
平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	25	27	26	26	26	26	156	26	26	24	24	24	26	150	306	26
要支援1	15	19	20	22	14	23	113	33	20	24	25	20	29	151	264	22
要支援2	173	181	177	194	215	184	1124	208	182	160	129	115	128	922	2,046	170
要支援延利用人員	188	200	197	216	229	207	1237	241	202	184	154	135	157	1,073	2,310	193
要支援一日平均	7.5	7.4	7.6	8.3	8.8	8.2	7.9	9.2	7.7	7.6	6.4	5.6	6.0	7.1	7.5	7.5
介護度1	360	398	375	408	410	413	2364	403	392	419	428	419	466	2,527	4,891	408
介護度2	226	256	235	244	226	209	1396	268	292	326	327	338	376	1,927	3,323	277
介護度3	158	183	180	210	228	195	1154	210	191	149	122	140	153	965	2,119	177
介護度4	55	35	38	38	27	23	216	43	35	20	21	21	37	177	393	33
介護度5	8	10	8	4	10	18	58	23	21	28	20	8	7	107	165	14
要介護延利用人員	807	882	836	904	901	858	5188	947	931	942	918	926	1039	5,703	10,891	908
要介護一日平均	32.3	32.7	32.2	34.8	34.7	33.0	33.2	36.4	35.8	39.2	38.2	38.5	39.9	38.0		34.9
延利用人員数	995	1,082	1,033	1,120	1,130	1,065	6,425	1,188	1,133	1,126	1,072	1,061	1,196	6,776	13,201	1,100
一日平均	39.8	40.1	39.7	43.1	43.5	42.6	41.1	45.6	43.5	46.9	44.6	44.2	46.0	45.1		42.3

(2) 居宅介護支援事業所

<目標>

ご利用者、ご家族のニーズに誠実に対応し、昨年より多くの方より相談いただけるようになる。

<結果>

- ご利用者の希望、心身の状況、生活環境、ご家族の支援状況等を把握するように努め、ご利用者一人ひとりが望む生活を実現できるように支援を行うことができた。
- ご利用者、ご家族より相談を受けた際には迅速に対応を行うことで信頼関係を構築することができた。
- ご利用者の入退や退院の時期にはなるべく病院にうかがうように努め、病院関係者と連携を行いご利用者、ご家族が安心して在宅生活を過ごせるように退院支援を行うことができた。
- サービス計画書作成数（担当数）において介護給付、予防給付ともに拡大した。

主な活動内容

- ① サービス計画書の作成
- ② 自宅訪問による相談
- ③ サービス担当者会議の開催
(介護保険証の更新時又はサービス内容の変更時)
- ④ モニタリング（評価）
- ⑤ 各居宅サービス事業所、行政機関、主治医（医療機関）との連携
- ⑥ 各種申請の代行手続き
 - ・介護保険要介護申請代行
- ⑦ 自己研鑽（事業所内研修毎週1回、外部研修）
- ⑧ 書類の整備

平成 30 年度	給付管理票提出数	1,566 件	(介護給付)
		553 件	(予防給付)
平成 29 年度	給付管理票提出数	1,544 件	(介護給付)
		525 件	(予防給付)

平成 29 年度居宅介護支援事業所 要介護度別担当者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
要介護 1	47	46	43	44	46	42	39	39	38	40	40	39	503	33%
要介護 2	39	38	38	34	37	42	42	41	42	40	40	38	476	31%
要介護 3	26	29	29	25	24	27	25	28	28	28	31	29	329	22%
要介護 4	18	19	19	20	17	15	12	14	13	13	12	13	185	12%
要介護 5	4	4	2	2	2	1	4	3	3	5	4	3	37	2%
要介護累計	134	136	131	130	126	127	122	125	124	126	127	122	1530	
要支援 1	19	17	16	16	18	17	18	18	16	14	13	12	194	37%
要支援 2	22	25	25	24	26	26	26	30	32	30	33	32	331	63%
要支援累計	41	42	41	40	44	43	44	48	48	44	46	44	525	

平成 30 年度居宅介護支援事業所 要介護度別担当者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
要介護 1	39	37	43	40	38	38	43	42	45	48	51	51	510	33%
要介護 2	38	38	38	35	34	34	35	36	42	44	43	43	456	29%
要介護 3	34	37	29	37	39	35	35	36	33	35	31	29	416	27%
要介護 4	13	10	19	12	10	12	12	10	9	9	10	12	130	8%
要介護 5	4	3	2	2	5	6	5	5	6	5	6	4	54	3%
要介護累計	128	125	131	126	126	125	130	129	135	141	141	139	1566	
要支援 1	13	17	16	18	17	18	16	14	15	13	13	14	186	34%
要支援 2	32	29	25	29	34	33	33	32	32	30	28	26	367	66%
要支援累計	45	46	41	47	51	51	49	46	47	43	41	40	553	

(3) ヘルパーステーションねむの丘

<目標>

ヘルパーの仕事に対して自身と誇りを持ち常に笑顔で接し御利用者の笑顔を引き出せ信頼関係を築けるような支援をする。

<結果>

○ 日々の業務に対し、一人ひとりが責任を持ち、個々の利用者の目標達成に向け情報を共有し・協力し合いケアを行うことができた。

○ 定期的にヘルパー研修を開催し、ヘルパーの資質向上を図ることで家族のと信頼関係築くことができ、また各居宅介護支援事業と連絡を密にすることによる信頼関係により実績を伸ばすことができた。

平成29年度要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	3	4	4	3	5	5	5	5	5	7	5	6	57
要支援2	6	6	6	8	7	8	8	7	8	9	9	9	91
要介護1	9	10	8	8	7	7	8	9	9	7	7	6	95
要介護2	6	6	6	8	8	10	10	9	9	9	9	8	98
要介護3	4	7	7	7	7	6	6	6	6	7	6	8	77
要介護4	1	2	3	1	1	1	1	3	2	2	1	0	18
要介護5	2	2	2	3	3	2	1	1	2	2	2	2	24
総合計(人)	31	37	36	38	38	39	39	40	41	43	39	39	460

平成30年度要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	7	7	8	7	6	6	6	6	7	6	6	6	78
要支援2	8	8	8	10	10	10	10	10	10	5	5	6	100
要介護1	7	7	7	7	7	7	5	6	8	9	10	9	89
要介護2	9	9	9	9	8	9	9	8	10	11	11	8	110
要介護3	6	5	3	3	6	6	6	4	6	6	6	7	64
要介護4													
要介護5	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
総合計(人)	39	38	37	37	38	39	37	35	42	38	39	37	456

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
29年度	57	91	95	98	77	18	24	460
30年度	78	100	89	110	64		15	456
比較増減	+21	+9	-6	+12	-13	-18	-9	-4

訪問介護事業所 型別年間サービス提供数

訪問 介 護	29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率	
	件数	22人	27人	26人	27人	26人	26人	26人	26人	28人	28人	27人	25人	24人	312人	
	回数	338	393	424	421	428	384	333	433	433	544	409	394	407	4,908	
	(身体型)	109	78	74	57	54	40	46	112	108	114	106	110	1,008	20%	
	(身体生活)	72	135	150	168	174	143	92	114	218	95	81	72	1,514	30%	
	(生活援助)	157	180	200	196	200	201	195	207	218	200	207	225	2,386	50%	
	30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率	
	件数	24名	23名	21名	20名	23名	21名	19名	25名	27名	27名	28名	25名	283名		
	回数	390	396	372	348	391	406	394	390	404	420	403	432	4,746		
	(身体型)	86	62	80	42	103	130	185	179	182	179	187	221	1,636	34%	
	(身体生活)	75	85	87	85	84	91	48	46	60	76	77	72	886	18%	
	(生活援助)	229	249	205	221	204	185	161	165	162	165	139	139	2,224	48%	

(4) 渋川市北橋地域包括支援センター

<目標>

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように、高齢者本人や家族、地域住民などから受けた相談を把握し、関係機関と連携して解決に努め、地域の高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点としての機能強化を目指します。

<結果>

(1) 総合支援事業

地域の高齢者がいつでも安心して相談できるような体制を作り、どのような支援が必要かを把握し、適切なサービス、関係機関または制度の利用につなげることができた。

(2) 権利擁護事業

権利擁護の視点に基づき、権利侵害の予防や侵害を受けている方への実態把握を行い必要に応じて関係機関と連携して、日常生活自立支援事業や成年後見制度を活用し、地域高齢者の権利を擁護することができた。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

定期的に地域ケア会議、3職種の定例会議に出席し他圏域の地域包括支援センター、市職員と連携を図り高齢者の支援につなげることができた。

(4) 介護予防ケアマネジメント事業

介護教室、介護予防講演会の開催、地域のサロンへの出席することにより、地域の高齢者又はそのご家族に介護や健康についての知識を普及するとともに相談窓口の周知につなげることができた。

平成 30 年度 渋川市北橘地域包括支援センター

区分		当年度累計
開所日数		255 日
基本情報作成数		136 件
相談実績		3,411
相談方法	電話（延べ）	1,623
	来所（延べ）	721
	訪問（延べ）	1,028
	その他（延べ）	39
相談内容が主に認知症に係る件数 （延べ）	65 歳以上	408
	65 歳未満	0
実態把握（一人暮らし高齢者）		96 件
権利擁護に関する相談件数		216
相談方法	成年後見（延べ）	13
	措置の支援（延べ）	9
	地域福祉権利擁護（延べ）	56
	高齢者虐待（延べ）	134
	消費者被害（延べ）	4
ケアマネジメント支援（プランチェック含）		243
介護予防支援	委託	393
	包括	43
介護予防ケアマネジメント	委託	415
	包括	39
当月国保連請求数		890
国保連請求数（返戻・修正・過誤）		28
基本チェックリスト（総合事業）		3
管理者会議（全体会議）		13
社会福祉士定例会		12
保健師定例会		8
主任ケアマネ定例会		12
民生委員連絡会議		10
生活支援体制整備事業（協議体）		9
家族介護教室・介護予防教室（主催）		1
各地域サロン・高齢福祉課各教室		6

地域ケア会議（個別）・コア会議	7
困難事例勉強会	5
ケアカンファレンス	2
CM 研修会（ケアマネサロン）	2
外部研修会	8
認知症施策（見守りあんしん・学びの講座）	2